

## 研究部会報告



### ●システム最適化●

#### ●第1回(関西支部講演会を兼ねる)

日時：6月7日(木) 場所：コンピュータサービス(株)視聴覚室 出席者：15名

テーマ：「電力システムの最適化」 講師：青木兼一(広島大学教授，中国・四国支部長)

内容：電力システムの最適化から発生する各種の数理計画問題の紹介と，その解法について述べられた。特に中国電力を例にとり，実際問題についても言及された。これらのことに関連して電力関係の人と数理計画法の研究者の共同研究が急務であることを強調された。

(部会后，青木先生を囲んで懇親会を催した)

#### ●第2回

日時：7月13日(金) 場所：住友ビル12階小会議室 出席者：20名

テーマ・講師：(1)「多属性価値関数における選好構造差独立性について」田村坦之(大阪大学工学部)

(2)「ある配電問題について」一森哲男(広島大学工学部)

内容：(1)は現実状況下でのトレード・オフ分析を行なうために，新しく選好構造差独立性の概念を定義され，多属性価値関数について議論された。(2)は，配電システムのスイッチをどのように配置したら，配電のさいの電力損失が最小になるかという問題を数理計画問題として定式化し，その解法を示された。

### ●決定モデルとその応用●

#### ●第3回

日時：6月30日(土) 場所：大阪大学基礎工学部数理教室 出席者：15名

講師・テーマ：(1)中井 達(大阪府立大学)「マルコフ過程における extreme point solution に関する論文の紹介」

(2)野村 治(金剛高校)「risk aversion に関する論文の紹介」

### ●未来分析●

#### ●第12回

日時：6月30日(土) 14:00~17:00 場所：東京都勤

労福社会館第6洋室 出席者：18名

テーマ：情報のもつ本質的意義(情報操作のウラを読む) 講師：奥村誠次郎(亜細亜大学)

内容：われわれが未来のことをエスティメートする場合，必ず情報をもとにするはずである。ところがいわゆる情報とされているものには，いかにおとし穴が多いかが浮きぼりにされた。さらにはまた，かつて歴史上失敗した同じことをくりかえしているという事実から，人間の行動は，果たして何を基準になされているかといった点も掘り下げて研究された。

#### ●第13回

日時：7月14日(土) 14:00~17:00 場所：東京都勤労福社会館 出席者：18名

テーマ：建設活動と国民経済 講師：保田悠紀雄(建設省)

内容：建設活動を経済的観点からみてどのような位置づけとして把握したらよいか問題であるが，今までのところ適当なメソロジーがなかったことも事実である。これが公共投資をめぐる論争をして堂々めぐりをさせているゆえんのものである。今回の討議を通じ，建設活動に対する経済理論のアプローチの方向が確立されたことは大きな意義があったものと考えられる。

### ●意思決定のための会計情報●

#### ●第11回

日時：7月7日(土) 14:30~16:30 場所：慶応義塾大学ビジネススクール 出席者：14名

テーマ：会計情報にもとづいたキャッシュフロー分析 講師：伏見多美雄，伊藤和憲(慶応義塾大学)

内容：償却前利益を期末キャッシュフローと仮定した場合と，収入・支出の実際のタイミングを考慮したキャッシュフローとの種々の比較について検討がなされた。

### ●待ち行列●

#### ●第3回

日時：7月21日(土) 14:00~17:10 場所：東京工業大学(情報科学科会議室) 出席者：23名

テーマ・講師：Q3-1 港湾パース能力の決定法(南隆志・川崎製鉄)一製鉄所の港湾パースの新設にさいして用いたパース能力の評価法の紹介。待ち行列モデルにより評価し，シミュレーション結果と対比している。

Q3-2 通信システムにおけるバッファメモリの解析(高橋敬隆・武蔵野通研)一計算機，パケット交換網，ファクシミリ網などにおける，バッファメモリのトラヒック設計に関する文献の分類・整理と解説。一